

岩滝の歴史講座のご案内

第3回 大原騒動 ～飛騨農民の悲しい百姓一揆～

岩滝まちづくり協議会
会長 取替 惣一

5年前の広報岩滝39号で、落合橋たもとの慰霊碑について紹介しました。

この慰霊碑は安永2年（1773年）に、大原彦四郎代官が田畑を検地しようとしたことに反対して起こった飛騨農民の百姓一揆のとき、代表として捕らえられて江戸の伝馬町の牢で亡くなった3名と、駕籠訴^{かごそ}をして捕らえられて打ち首になった6名を慰霊するため岩滝の人達が建てたものです。

慰霊碑に彫られた文字は風化して読みにくくなっていますが、牢でなくなった3名の名前と、万人講川原でさらし首にされた6名の名前と、12月27日という日付が刻まれています。

当時岩滝の人で捕らえられて犠牲になった人は無かったようですが、「駕籠訴をすれば死罪」とわかった上で、死を覚悟して決行した農民の代表の方たちを思うと心が痛みます。しかも打ち首になった6名の年齢は32～41歳ということで、さぞ悔しい思いであったろうと思います。

今回の講座は、東京まで足を運んで調べてみえた田中彰先生にお願いして、大原騒動とはどんな出来事だったのかをお話していただきます。皆様のご参加をお待ちしています。



記

日時 12月9日（火） 午後7：30～8：30

場所 岩滝公民館 2階会議室 **講師** 田中 彰 先生

※ 参加を希望される方は、下の用紙を12月7日（日）までに岩滝公民館へ提出願います。

----- キリトリ -----

12/9 岩滝歴史講座に出席します。

お名前 _____